

一級河川 姫川 小谷村グランド横



一級河川 姫川 小谷村月岡鉄橋上



一級河川 姫川 小谷村月岡鉄橋中



平成7年7月11日～12日にかけての梅雨前線豪雨  
単災復旧

一級河川 姫川 小谷村月岡鉄橋下



一級河川 姫川 小谷村月岡鉄橋下

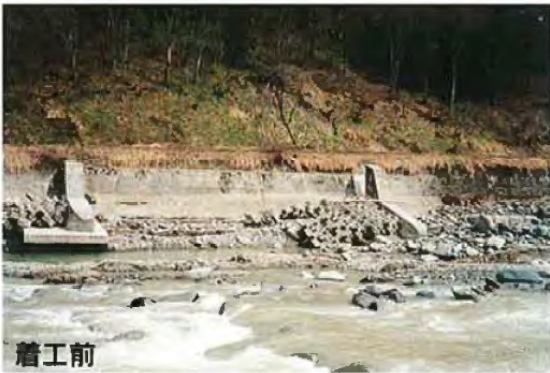


一級河川 姫川 小谷村新柳瀬橋上



平成7年7月11日～12日にかけての梅雨前線豪雨  
単災復旧

一級河川 姫川 小谷村雨中



一級河川 姫川 小谷村宮本橋上



一級河川 姫川 小谷村宮本橋下



一級河川 姫川 小谷村除雪基地



一級河川 姫川 小谷村下里瀬



平成7年7月11日～12日にかけての梅雨前線豪雨  
単災復旧

一級河川 姫川 小谷村中央橋左岸



一級河川 姫川 小谷村中央橋右岸



一級河川 姫川 小谷村下里瀬スノーシェッド



平成7年7月11日～12日にかけての梅雨前線豪雨  
単災復旧

一級河川 姫川 小谷村姫川橋上



一級河川 姫川 小谷村川尻洞門右岸





一級河川 姫川 小谷村姫川橋踏切横



一級河川 姫川 小谷村姫川橋踏切横



平成7年7月11日～12日にかけての梅雨前線豪雨  
単災復旧

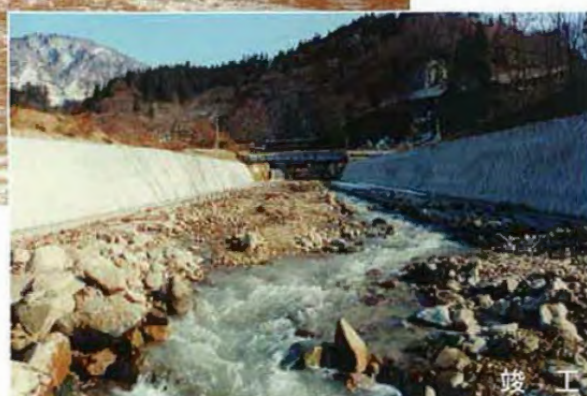
一級河川 姫川 小谷村来馬



一級河川 姫川 小谷村来馬 白井沢工区



一級河川 姫川 小谷村来馬 濁沢工区

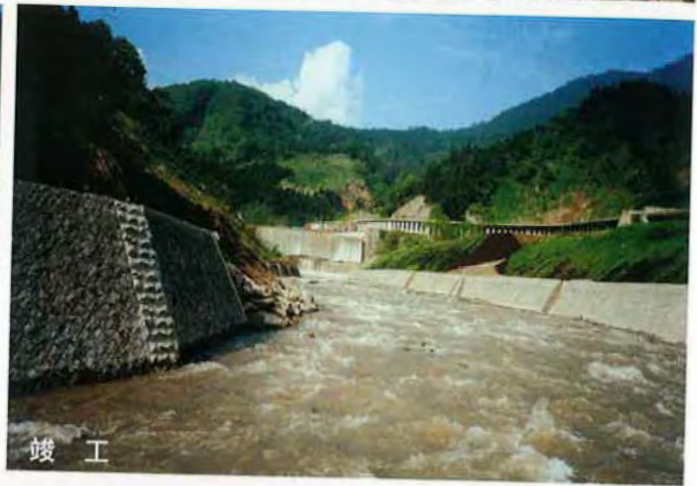
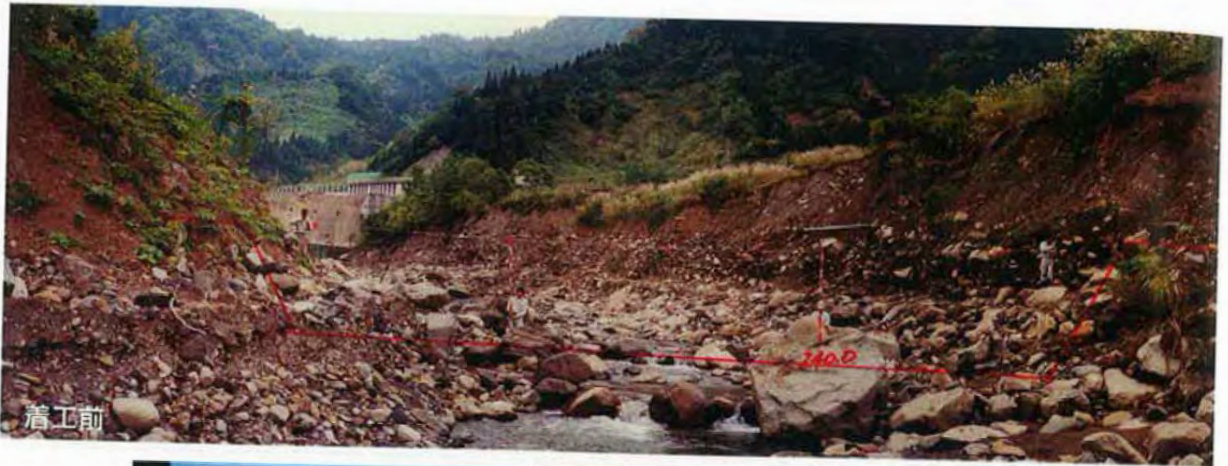


平成7年7月11日～12日にかけての梅雨前線豪雨  
単災復旧

一級河川 姫川 小谷村湯原



一級河川 中谷川 小谷村大なで



一級河川 中谷川 小谷村熱湯



平成7年7月11日～12日にかけての梅雨前線豪雨  
単災復旧

一級河川 親沢川 小谷村塩の道



一級河川 親沢川 小谷村馬越



一級河川 高瀬川 大町市字須沼



一級河川 高瀬川 池田町十日市場



一級河川 高瀬川 松川村字細野



平成7年7月11日～12日に  
かけての梅雨前線豪雨  
単災復旧



着工前



竣工

(一)川尻小谷糸魚川線  
小谷村惣五郎



着工前



竣工





(一)川尻小谷糸魚川線  
小谷村惣五郎

着工前



竣工

① 災害復旧事業（一定災）（単位：百万円）

路・河川	箇所名	施工延長	事業費
姫川	姫川温泉	2,000.0m	8,092

② 災害復旧助成事業（単位：百万円）

路・河川	施工延長	事業費
姫川	4,750.0m	9,767

③ 橋梁災害関連事業（単位：百万円）

路・河川	施工延長	事業費
新国界橋	79.5m	762

④ 災害復旧助成事業（単位：百万円）

路・河川	施工延長	事業費
中谷川	6,540.0m	7,325

⑤ 河川災害関連事業（単位：百万円）

路・河川	施工延長	事業費
土谷川	573.0m	461

平成7年度災 決定状況（単位：百万円）

災害復旧						改良復旧							
工程	県工事		市町村工事		計	工程	路・河川名		施工延長	災害費	改良費	事業費	長野県分
	箇所	決定額	箇所	決定額			箇所	決定額					
河川	150	21,499	43	532	198	22,021	土谷川	573.0m	256	205	461	15.1km	
堤防	119	1,937	290	2,994	409	4,932	新国界橋	79.5m	735	27	762		
橋梁	5	404	15	185	20	590	中谷川	6,540.0m	4,059	3,266	7,325		
計	274	23,830	348	3,713	622	27,544	黒川	3,260.6m	904	880	1,784		
							姫川	4,750.0m	4,595	5,172	9,767		
							計		10,549	9,560	20,099		

## 事業概要

平成7年7月上旬から梅雨前線が日本海沿岸に停滞し、北陸・信越地方では大気の状態が非常に不安定になったことにより、7月11日昼過ぎから雷を伴った激しい雨が降り出し、県の北西部に限定された記録的な豪雨となった。この北アルプスを中心となった豪雨は、小谷村では1時間で48ミリ、24時間で357ミリを記録した。これは200年に一度の確率雨量を超えるものと推定され、同様に周辺の白馬村、鬼無里村、戸隠村でも200年程度、あるいはそれ以上の降雨量を記録した。

この豪雨によって当管内全体でも河岸決壊、河川の氾濫が相次ぎ、土砂崩落などによりJR大糸線や国道148号など多くの所要交通機関は寸断された。

その被害は当管内全体で622箇所、約275億円にも上り、未曾有の大災害となった。(下図参照)

現在、その早期復旧に向け各所で復旧工事を進めているところがある。

- ① 一定 災 姫川
- ② 災害復旧助成事業 姫川
- ③ 災害復旧助成事業 中谷川
- ④ 災害復旧助成事業 黒川
- ⑤ 災害関連事業 新国界橋
- ⑥ 土谷地域関連事業 土谷川

災害復旧助成事業 (単位:百万円)

路・河川	施工延長	事業費
黒川	3,260.6m	1,784

# 一定災 姫川

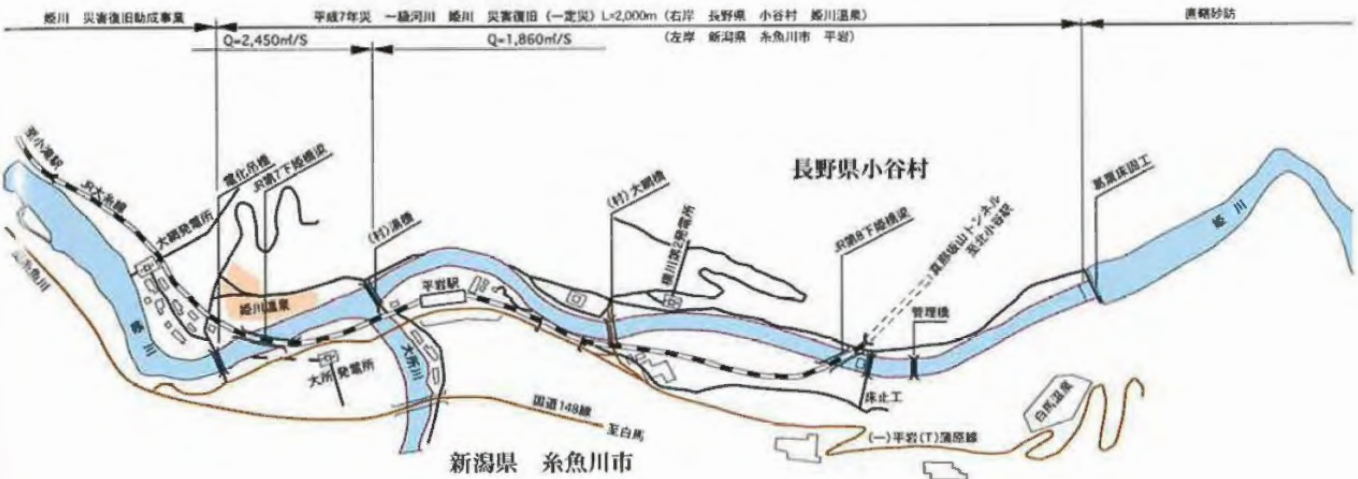
## 事業概要

平成7年7月11から12日の梅雨前線豪雨により、一級河川姫川が氾濫し、特に長野県と新潟県との県境付近が、大きな被害を受けた。

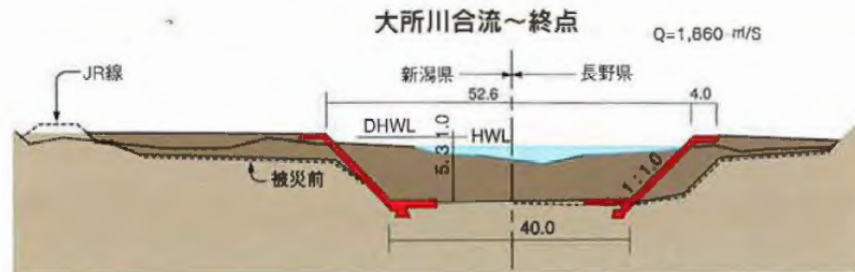
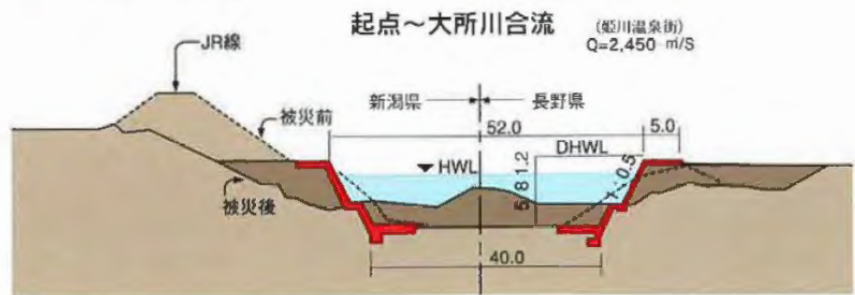
今回の災害は、姫川本・支川の河岸の崩壊等により、流出した土砂が河道に堆積し、河積が減少したことから、越水が生じたことによるものである。

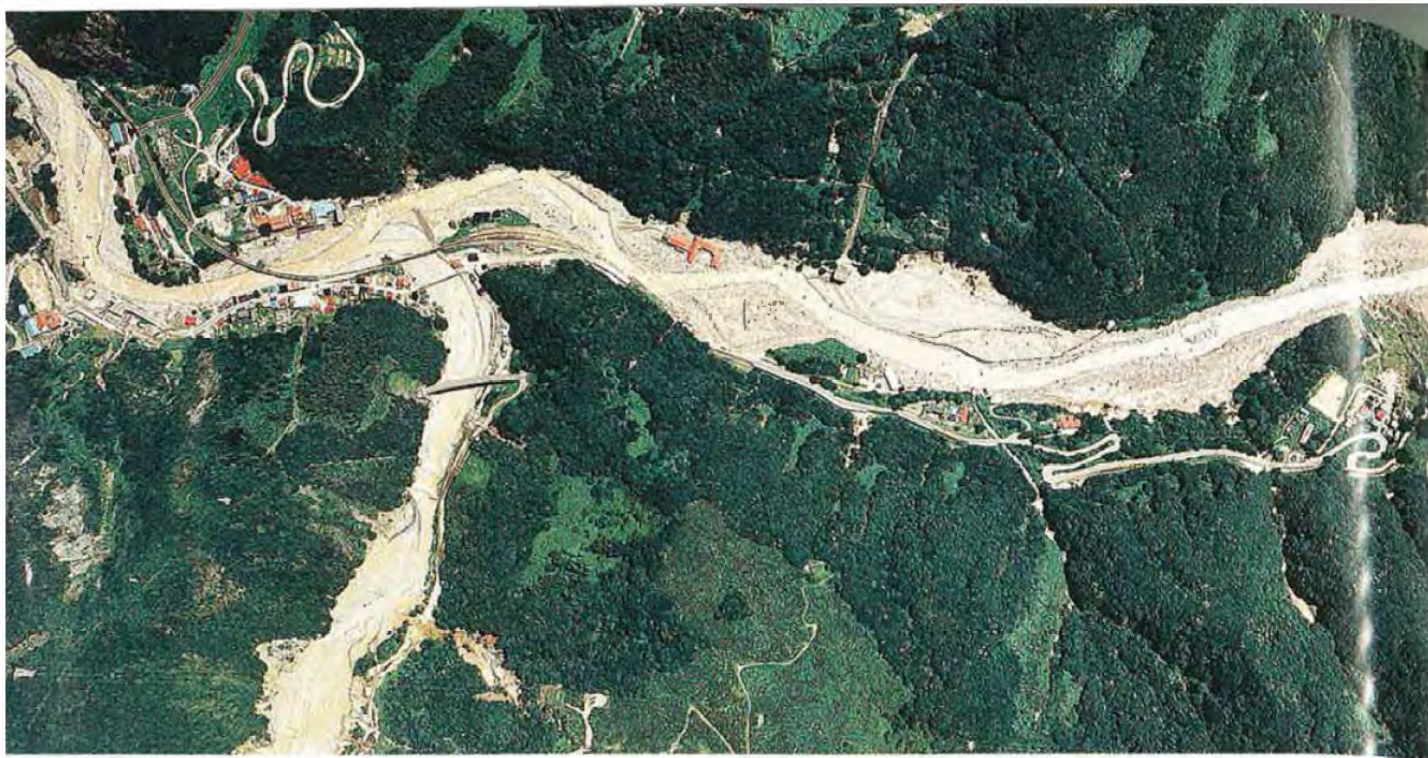
復旧にあたっては、再度災害防止のための護岸工を計画し、現況河岸が堆積土であることから沈下等に対応するため、フレキシブルな平型ブロック張工を採用した。

また河床の安定を図ることから、帯工及び護床工を配置し、上流からの土砂災害を防止するため、床止工を計画した。



計画概要表	
施工延長	2,000m
流域面積	515km <sup>2</sup>
計画高水流量	2,450~1,860m <sup>3</sup> /s
計画川幅	40.0m
計画勾配	1/58~1/50
法勾配	1:0.5~1:1.0
天端幅	5.0~4.0m
余裕高	1.2~1.0m
粗度係数	0.045
事業費	8,092百万円





▲被災後



▲被災前

新潟県

買収筆数 21筆  
買収面積 17,025.73㎡  
地権者数(延) 18名

年月	説明会等
平成 7年12月	第1回災害復旧計画説明会(長野県と合同)
平成 8年 1月	工事中確認の巾杭設置
平成 8年 2月	第2回災害復旧計画説明会及び起工承諾
平成 8年 7月	用地調査委託 用地立ち会い
平成 9年 2月	用地交渉開始
平成 9年 3月	大所共有地・糸魚川市有地合同調印
平成 9年 6月	用地買収完了

長野県

買収筆数 33筆  
買収面積 29,381.73㎡  
地権者数(延) 238名

年月	説明会等
平成 7年12月	第1回災害復旧計画説明会(新潟県と合同)
平成 8年 1月	工事中確認の巾杭設置
平成 8年 2月	第2回災害復旧計画説明会及び起工承諾 用地調査委託
平成 8年 3月	姫川温泉街に対する説明会
平成 8年 5月	用地立ち会い
平成 8年10月	用地交渉開始
平成 9年12月	大綱地区共有地合同調印
平成10年 3月	用地買収完了



▲ 応急工事 (H7.9中旬)



▲ 被災前



▲ 応急工事完了 (H7.9下旬)



▲ 被災後



▲ (H8.5下旬)



▲ 応急工事 (H7.8中旬)

一定災  
姫川



▲平成8年8月15日 台風12号被災後



▲平成8年6/24~25梅雨前線豪雨被災前 (H8.6/24)



▲平成8年11月下旬



▲平成8年6/24~25梅雨前線豪雨被災後



▲平成9年12月



▲平成8年7月上旬 工事再開

# 旧事業 復成 災害 助成 姫川

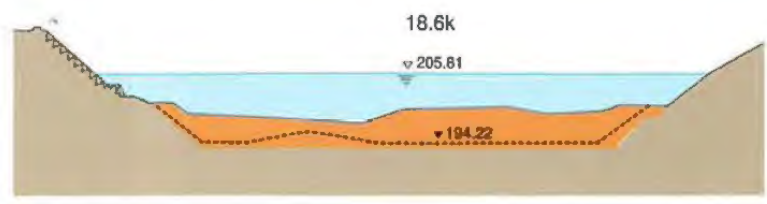
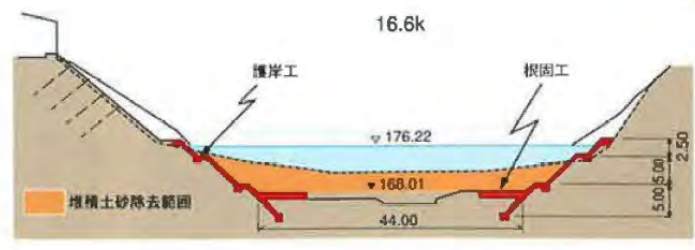
## 事業概要

姫川では、平成7年7月11日から12日の降雨によって、上中流域における山腹斜面の崩壊や地滑りが発生し、姫川本川に大量の土砂が流出し河道に堆積した。また、河岸決壊により、姫川沿いの人家や姫川温泉、J.R等に大きな被害を及ぼした。

復旧にあたり、大量の堆積土砂の除去により、河道を確保し、また川幅が狭く河岸浸食の恐れがある箇所には、護岸工、根固工を設置した。  
また流出土砂の調節を行うため、スリットダムを計画した。



計画概要表	
施工延長	4,750m
流域面積	542.4km <sup>2</sup>
計画高水流量	2,530~2,450m <sup>3</sup> /s
計画川幅	42.0~180.0m
計画河床配	1/70~1/105
法勾配	1:1.0
天端幅	5.0m
余裕高	1.2m
粗度係数	0.043~0.045
事業費	(長野県分) 9,767百万円



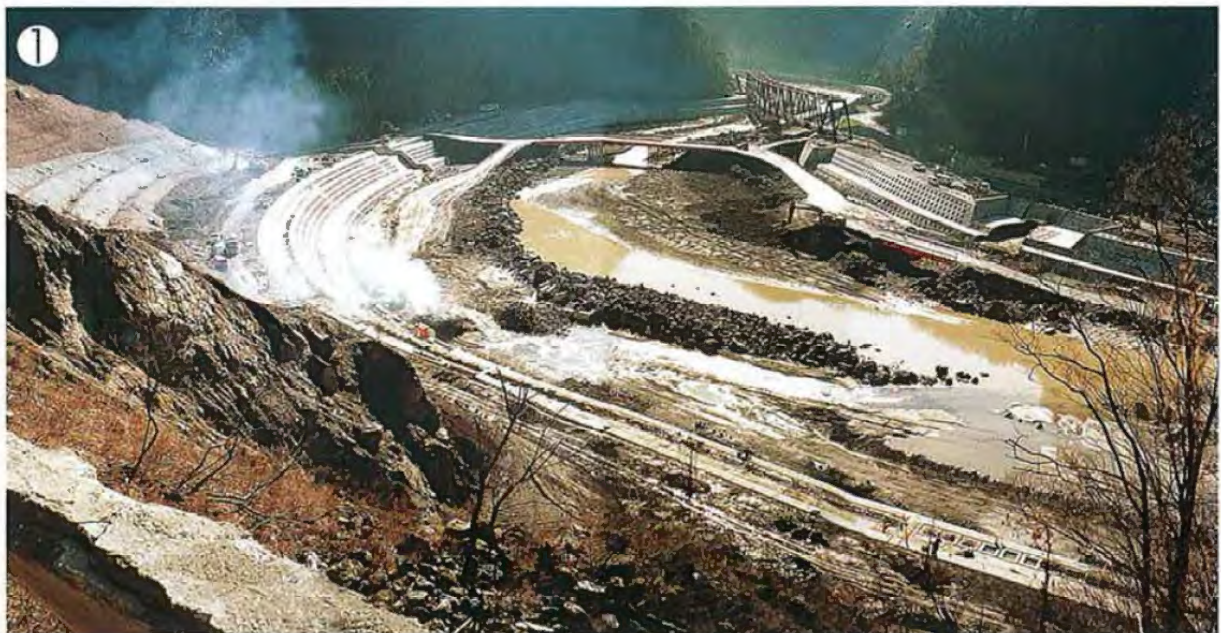




▲被災前の現況(横川合流付近) (H元.11)



▲被災状況(横川合流付近) (H7.7)





災害復旧  
助成事業  
姫川



# 災害復旧 助成事業 中谷川

## 事業概要

中谷川は小谷村東北部の山岳に源を發し、一級河川姫川に合流する流路延長17.2km、流域面積57.8km<sup>2</sup>の一級河川である。

本河川は平成7年7月11日から12日の梅雨前線豪雨により、護岸の流出、河岸の決壊及び河岸浸蝕等による異常埋塞の被害が発生した。

このような激甚な災害を契機に、河積の拡大と縦断勾配・流路の是正を図り、沿線住民の民生の安定を図るため、災害復旧助成事業により施工するものである。また、本河川流域は、自然豊で数々の貴重種をはじめ多くの動植物が点在し、上流部には小谷温泉、雨飾山等の観光地があることから、流域を「自然環境ゾーン」「親水ゾーン」「景観ゾーン」に分類し、各ゾーンの特性に応じ、自然環境、親水性等に配慮した整備を行なうものである。

## 平面図

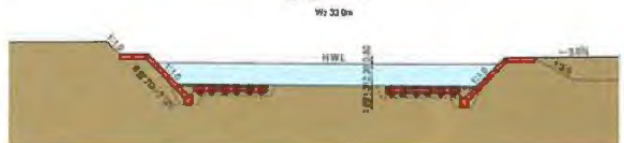


計画概要表	
施工延長	6,540m
流域面積	28.8~57.8km <sup>2</sup>
計画高水流量	340~395m <sup>3</sup> /s
計画川幅	14.5~85.5m
計画河床勾配	1/74~1/27
法勾配	1:0.5~1:3.0
天端幅	1.0~3.0(4.0)m
余裕高	0.8m
粗度係数	0.045
事業費	7,227百万円

## 標準横断面図



## 景観ゾーン





▲石原橋より上流 (H9.11月)



▲7/13 真木下 被災状況



▲真木下 完成 (H9.8月)



▲7/12 石原橋

買収筆数 810筆  
買収面積 219,027.90㎡  
地権者数(延) 291名

年月	説明会等
平成 8年 1月	用地調査委託(公図・登記簿調査)
平成 8年 3月	用地調査委託(測量)
平成 8年 4月	第1回工事・用地説明会及び起工承諾
平成 8年 5月	用地立ち会い
平成 8年 6月	第2回工事・用地説明会
平成 8年 8月	物件調査委託
平成 8年 9月	用地交渉開始 第1回用地合同調印
平成 8年10月	第2回用地合同調印
平成 8年11月	第3回用地合同調印
平成 8年12月	第4回用地合同調印
平成11年 3月	用地買収完了



▲戸石 完成 (H9.8月)



▲7/12 戸石 被災状況



▲7/12 中谷橋上流から下流 被災状況



▲7/13 戸石 応急



▲中谷橋上流から下流 完成 (H9.8月)



▲中谷橋下流 完成 (H9.8月)

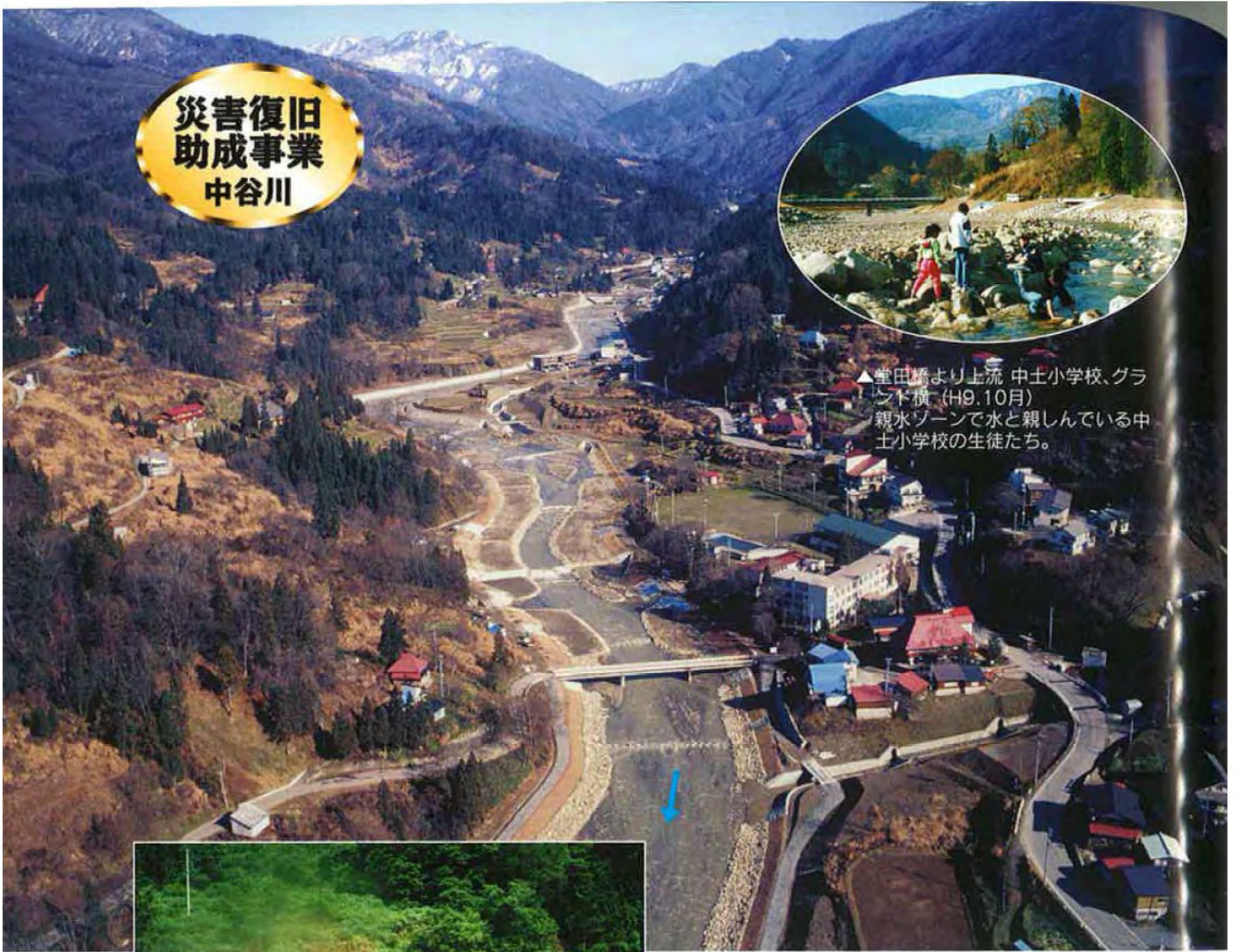


▲中谷橋上流 完成 (H9.8月)



▲中谷橋より上流の完成状況 (H9.11月)

**災害復旧  
助成事業  
中谷川**



▲堂田橋より上流 中土小学校、グラウンド横 (H9.10月)  
親水ゾーンで水と親しんでいる中土小学校の生徒たち。



▲7/13 堂田橋から上流 被災状況



▲堂田橋より上流 完成 (H9.8月)



▲中谷川と十二沢の合流部 完成 (H9.8月)



▲7/15 中谷川と十二沢の合流部 被災状況



▲河道掘削 応急 (H7.12月)







▲被災状況 (H7.7)



▲被災状況 (H7.7)



▲被災状況 (H7.7)

買収筆数 176筆  
 買収面積 30,581.47㎡  
 地権者数(延) 257名

年月	説明会等
平成 7年11月	工事・用地説明会及び起工承諾 用地立ち会い
平成 7年12月	用地測量委託
平成 8年 5月	工事・用地説明会
平成 8年 7月	物件調査委託
平成 8年11月	用地交渉開始 用地合同調印
平成11年 3月	用地買収完了



▲姫川合流部(復旧後)



▲被災状況



▲復旧後



▲被災状況



▲復旧後



▲被災状況



▲復旧後

旧事業  
復成  
災害  
助成  
黒川



▲被災状況



▲復旧後



▲被災状況



▲復旧後

**事業概要**

当地区は、北安曇郡の小谷村のほぼ中央に位置しており、一級水系姫川にそそぐ一級河川「土谷川」である。

平成7年7月11から12日の梅雨前線豪雨により護岸が決壊し民家および生活路線である村道、橋梁が甚大な被害を被った。

復旧に当たっては、現状での原型復旧では再度災害を免れないことから一定計画を策案し、河川災害関連として申請を行い、流路屈曲の是正、河積の拡大、落着工および帯工を新設し、河床低下の防止を図ることとした。

また、村道橋の土谷橋においては、前後に道路改良の計画があることから橋梁関連事業で申請し、橋梁の架替と拡巾を行うこととした。しかし関連費が災害費より大きくなり、災害費と関連費の比率で1対1の枠を超えてしまったため、異なる管理者の河川災害関連の組合せによる地域関連事業として採択された。

■復旧概要

- (河川) L=573.0m
- 護岸工A=4,989.9m
- 床止工5基 帯工 5基
- (橋梁) L=187.0m
- (橋梁部) 27.3m 取付道路部 159.7m
- 幅員W=7.0m

**平面図**

(一) 土谷川 河川災害関連事業 L=573.0m



**標準横断面図**

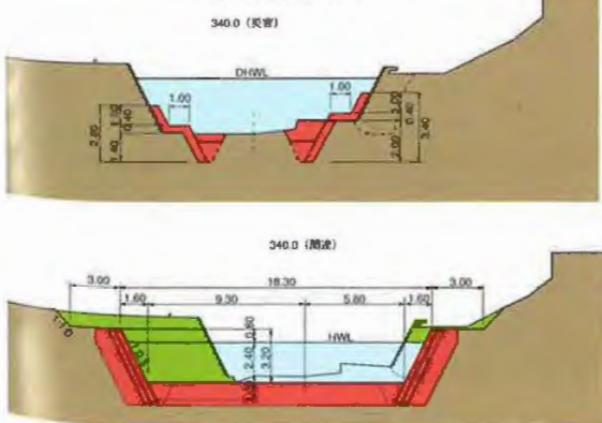


表-1 土谷地域関連事業費

事業名	河川災害関連事業	河川災害関連事業	合計
工種	河川	橋梁	
河川路線名	(一)土谷川	(村)東側線	
事業主体	長野県	小谷村	
採択基準	査定方針 第19-1-(7)-4(9)(ロ)(イ)	査定方針 第19-1-(7)-1-(ト)	
諸元	L=573m Q=226~294 m/s	橋長27.3mW=7.0m 取付道路L=159.7m	
事業費	461	173	634
災害費	256	24	280
関連費	205	149	354
関連工事費	193	141	201
関連事務費	12	8	20

※単位：百万円



▲(H8.11)

買収筆数 60筆  
 買収面積 13,793.33㎡  
 地権者数(延) 42名

年 月	説明会等
平成 7年11月	工事・用地説明会及び起工承諾
平成 7年12月	用地調査委託 用地立ち会い
平成 8年 5月	用地交渉開始
平成 8年 6月	用地合同調印
平成10年 3月	用地買収完了



▲7/13 被災状況



▲完成(H9.11)



▲7/13 被災状況



▲完成(H9.11)



土谷地域  
関連事業  
土谷川



▲7/13 被災状況



▲完成(H9.11)



▲完成(H9.11)



▲7/13 被災状況



▲7/13 被災状況



▲完成(H9.11)

**事業概要**

新国界橋は、長野県と新潟県を結ぶ国道148号の両県の境界に位置し、平成7年7月11日から12日の異常降雨により発生した蒲原沢の土石流により流出した。復旧に当たっては、トンネル出口に位置し、架橋位置の変更はできないことから、少しでも土石流による被災を防ぐため、既設橋台を補強し、従来の鋼方柱ラーメン橋を単純鋼ローゼ桁橋に変更して採択された。

重要路線であり、道路構造令の改正により設計荷重がB活荷重になるため、従来の設計荷重(T-L-20t)による事業費との差分を関連事業による改良とした。

事業費：762百万円

(うち災害費735百万円)

(長野県・新潟県それぞれ

1/2を負担)

諸元：L=110.0m

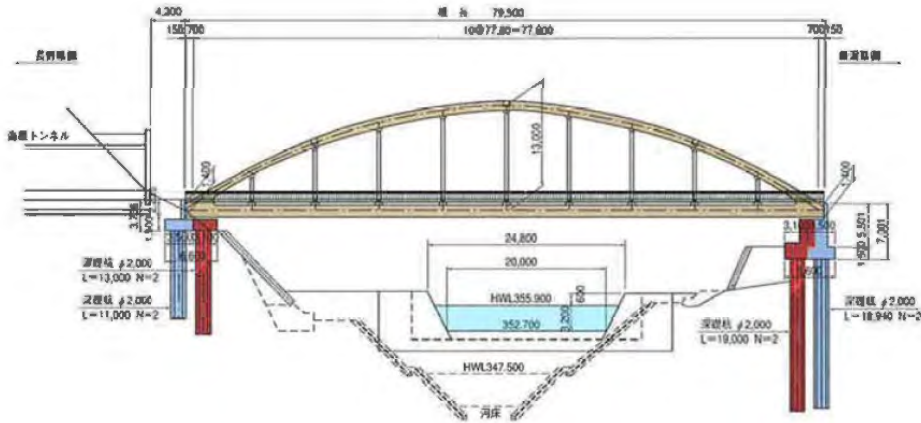
橋長L=79.5m

(鋼単純ローゼ桁橋)

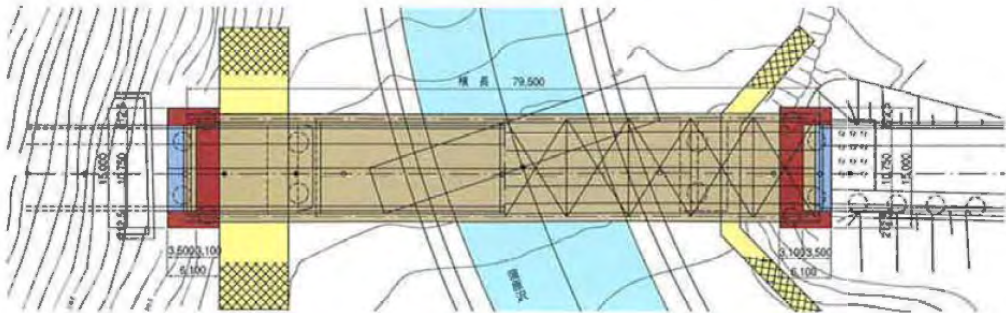
逆丁橋台 深礎杭基礎2基

取付護岸工1式

**側面図**



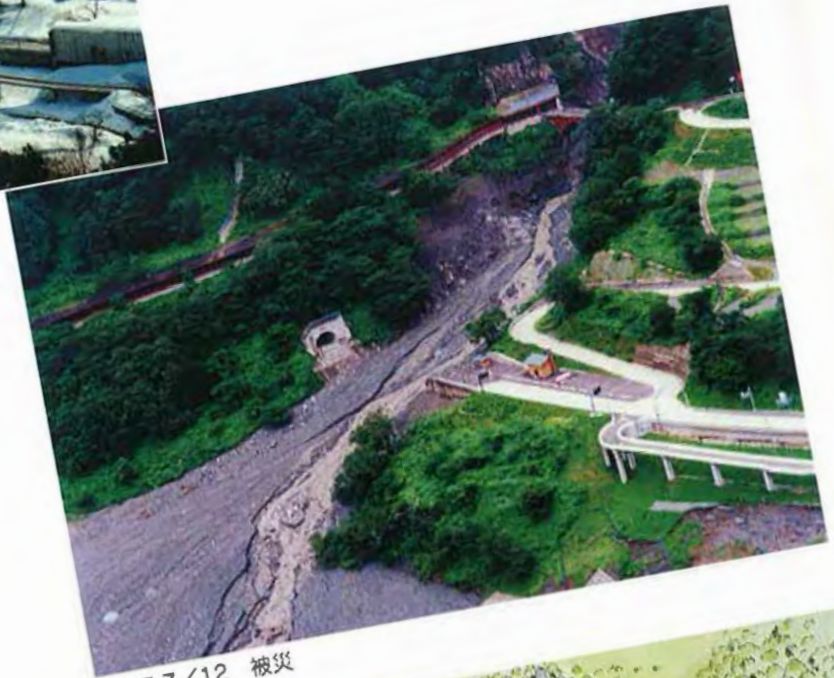
**平面図**







▲被災前 H7.1



▲H7.7/12 被災



▲完成予想図